

新議長・副議長に聞く



中崎のベランダ護岸から
市役所を背景に撮影

5月14日に開かれた本会議で、議長・副議長の選挙を行い、議長に寺井吉広議員、副議長に竹内きよ子議員が選任されました。

議会の代表である2人に、今年度の取り組みや市民へのメッセージを聞きました。

副議長

たけうち きよ子(66)

かがやきネット・市民の会 在職2期

竹内副議長に聞く

今年度の取り組み

市議会の透明性と市民の皆さまとの信頼関係を深めるため、広報活動は非常に重要な役割を担っています。今号からあかし市議会だよりが、全戸配布されています。市民の皆さまに議員の一般質問や委員会の審査など、定例会の内容や市議会の活動状況をお知らせするため、より分かりやすく、より読みやすい紙面となるよう努めてまいります。

また、子どもたちの育ちをみんなで支えるため、今年度中に全28小学校体育館に空調を整備し、安全安心な教育環境の提供と避難所としての機能強化を図ります。

市民の皆さまへ

開かれた議会を目指し、市民の皆さまに議会での意思決定や政策についてプロセスを含め、より分かりやすく発信していきたいと考えております。

これからも、引き続き、子育てしやすいまちで子どもたちが健やかに学び、成長できるよう、教育環境を整えるなど、未来に夢が持てるまちづくりに取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

議長

てらい よしひろ 吉広(62)

かがやきネット・市民の会 在職4期

寺井議長に聞く

今年度の取り組み

明石市は、13年連続で人口が増えておりますが、今後は社会保障関連経費や老朽化した公共施設等の更新に多額の費用が必要となります。厳しい財政状況であります。厳しい財政状況であります。子育て支援に加え、豊かな海の幸や農作物、歴史ある町並み、文化など、地域の魅力を生かしながら市民の皆さまが誇りに思えるまちづくりに取り組んでまいります。

市議会は、現在の物価高騰や自然災害の多発という厳しい現実に対して、市民生活の安全と安心を最優先

市民の皆さまへ

市民の皆さま一人一人の声を大切に、身近で信頼される議会運営に努めるとともに、明石市がより暮らしやすいまちとなることを目指し、さまざまな課題の解決に向け、全力で取り組んでまいります。

に考え、迅速かつ的確な政策提言と監視を行う責務があります。生活支援や子育て支援、高齢者・障害者のサポートなど、引き続き、困っている方々への施策を充実させ、誰一人取り残さない施策を展開してまいります。